

(4) 大塩せきの改良

1720年 水路全般を大改修 (暗きよ水路)
↓ 村民総出の大工事

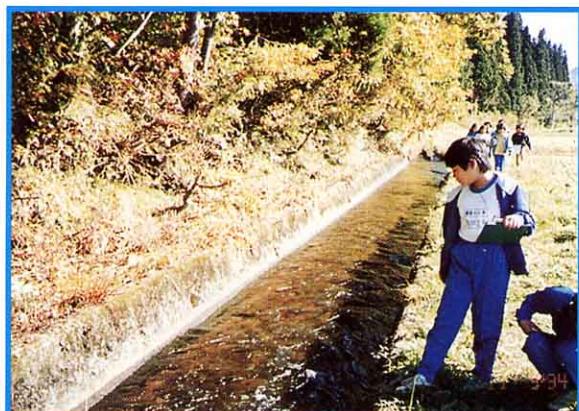
1730年 約10年間かかる。

1930年 鉄のつり橋をつくり、その上を木のさおを渡して水を引く
(約90m)

1958年 砂防ダム建設

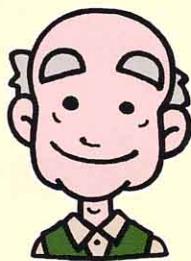
1960年 砂防ダム完成
現在でも、このダムの左岸取り入れ口から引いています。

ダムが完成したとき、青い水がダム
いっぱいにたまっているようすを見て、
村人は、これまでの長いあいだりく
んできた苦しかった水との戦いをふり
返り、感激の涙を流したということで
す。豊かな水も今では不足ぎみです。



今の大塩せき

〈おじいさんのおはなし〉



毎年、5月になると堰の洞門
につみ上がった土砂をすくうことになっていたんだ。洞門
の中に入ると、胸まで水につかる。雪解け水だから体が冷えて、15分仕事をしては、たき火で体を温めてのくりかえしだったな。1日で終わるが、16才から60才までの男達はだれでもやることになっていた。仕事はきつかったな。